

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表:令和 6年 1月 20日

事業所名 こぱんはうすさくら立川幸町教室 保護者等数(児童数) 回収数 24 割合 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	2	1	6	工夫してスペースを確保していると思います。	クールダウンのための居室の使い方などをお子さまにもお伝えし、生活空間を整える
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	16	3		5	全ての先生についてはわかりかねます 同性の職員居ない時が多い。実際に見る機会がない先生方の人数は十分で、かつ子どもが楽しく取り組める工夫がされていると思います。	外部専門員などの協力を検討していく
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	13	3	1	7	全体的にフラットな作りになっており、バリアフリーを意識していると思います。	怪我のリスクがある場所などは事前に修繕を行っている
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	20	2		2	保護者へのヒアリングを行った上で計画書が作成されれています。	お子様の発達と保護者様のニーズを把握できるようケース会議、支援の立案、保護者様への共有後、修正を行い計画している
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	20	2		2	金曜日は外に出ない事が多い。実際に見る機会がない 季節の行事なども取り入れ、毎回子供たちが楽しめるよう工夫されています。	活動の内容のバリエーションなどを保護者参観などで実際に御覧いただく機会を設けていく。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	4	1	14	公園遊びの際に、近所のお子さんたちと遊ぶことがあると聞きます。	コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら、地域のイベントに参加をし交流のきっかけとしていく
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22	2			とでもていねいです。利用に関することは全て丁寧に説明していただいております。	支援内容については、個別支援計画面談時によりわかりやすく説明を行う
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	22	2			直接会えない分、メールでのやりとりがとてもありがたい。活動の日誌や送迎の際に活動や課題について説明・報告をしていただいております。	連絡帳などでお伝えしきれない面に関しては個別にご対応させて頂いている。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18	3	1	2	コロナもあったので、送迎時の時間のある時に対応してくれている。面談や送迎時に学校や家庭での様子を共有し、ご助言いただいております。	保護者様の悩みもお聞きし、その中で通所していただけるようになったことを具体的にお伝えさせて頂いている。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	6	6	7	保護者参観できる日があるとよいです 保護者に知合いがいるので、情報交換や互いの状況を共有したり交流することはあります。	コロナウイルス感染拡大予防の配慮、保護者様のご都合を調整し検討していく
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	20	2		2	苦情がある場合ほどのような手順を踏めばいいか事前に説明がありました。	事業所都合の急な変更などでご迷惑がかからないよう事前に緊急時対応などにつきお知らせをしている
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21	1		1	メールや日誌、電話・対面等での対応において十分配慮されています。	今後はシステムを活用してより細やかな情報をお伝えしていきたい。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	23			1	毎月会報等で発信されています。必要に応じてメール等での連絡もいただいております。	自己評価の公表方法などを周知していく
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	17	3		4	感染症対応の理解はできているが緊急時の対応など知りたい 一通り説明がありました。変更時は適宜丁寧に周知・説明があります。	感染・災害対応のマニュアルを見直し、面談時などに新たに説明を行う
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	23			1	定期的に避難訓練等開催されています。	会報などで実施報告を行う
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	22	2			毎回楽しく通っております。	引き続き楽しく通える施設運営を維持していく
	18 事業所の支援に満足しているか	22	2			学校が休みの日や土・日。祝に朝からあずかっていただけて助かります。いつも支えていただき感謝しております。	学齢期に合わせてより自立につながる支援を考案していく、新教室を高学年向けにした。

327 39 10 55

76%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 1月 20日

事業所名 こばんはうすさくら ○○教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	12	18	昨年に比べ大きく改善できた。	事務室を移転し、活動環境の拡大を行った
	2 職員の配置数は適切である	20	10	職員の偏りが多い。最低配置の日もあれば人員過多の日もあり、特に人員が多いときは計画にとらわれず柔軟に個別療育などにシフトチェンジしたりした対応をしていきたい。	安全な見守りができるようにシフトチェンジを行い事故・怪我の防止を徹底していく。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	21	9	トイレの入り口に段差がある。簡易スロープも検討する。	今年度中に対策を実施予定
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	24	スタッフとの面談の機会を増やし、PDCAサイクルの重要性を伝達している	内容が浅いのでもう少し一人一人の意識を深めていく。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	25	5	今回のアンケートを議題に研修会を行う予定である。	今回のアンケートを議題に研修会を行う予定である。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	20	10	概ね達成できている。	概ね達成できている。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	22	有償となかなか予算が取れない。できれば実地調査チームのような事業所をまんべんなく見ていただける評価チームを作っていたきたい。	有償となかなか予算が取れない。できれば実地調査チームのような事業所をまんべんなく見ていただける評価チームを作っていたきたい。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	27	3	今後は研修の成果を発揮できる機会を作っていく。	今後は研修の成果を発揮できる機会を作っていく。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	23	7	概ね達成できている	概ね達成できている
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	21	9	心理担当職員がいないため我々にはハードルが高い事、すでに医療機関や発達センターで検査済みの子供がほとんどであるが人的資産が整えば取り組みたい	心理担当職員がいないため我々にはハードルが高い事、すでに医療機関や発達センターで検査済みの子供がほとんどであるが人的資産が整えば取り組みたい
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	21	9	達成できている。	達成できている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	20	8	達成できている。	達成できている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	17	12	職員の共通認識迄落とし込めていないので改善したい。	職員の共通認識迄落とし込めていないので改善したい。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	22	6	たまに連携が取れず程度の軽い子が置き去りにされる。今後の課題とする。	たまに連携が取れず程度の軽い子が置き去りにされる。今後の課題とする。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	30	0	分担については担当職員同士の遠慮もある中で決まり切っていないこともある。話し合いと連携をしっかりと行っていく	分担については担当職員同士の遠慮もある中で決まり切っていないこともある。話し合いと連携をしっかりと行っていく
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	22	7	振り返りの実施と支援シートの記入を行っている。とはいえ、次への改善点を見出せないことが多い	振り返りの実施と支援シートの記入を行っている。とはいえ、次への改善点を見出せないことが多い
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	27	4	徹底とまでは行かないかもしれない。	支援の検証を今年度の重点課題とし、ケース会議開催の頻度を増やしていく
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	21	6	概ね達成できているが月一通所の児童は難しい。情報共有をしっかりとっていく。	概ね達成できているが、3者面談なども実施しながら支援を構成していく
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	22	7	地域参画、アセスメント、移行支援等まだそこまで成長できていない部分がある。	地域参画、アセスメント、移行支援等まだそこまで成長できていない部分がある。
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	20	5	客観的に判断している。	客観的に判断している。	
21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	22	7	保護者との間で予定については確認している。また、送迎については学校と連絡を取っている。	引き続き継続を行う	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	1	医療ケア児はいないが、肢体不自由の子供とは医療センターの方からいただくことがある。受動的にならないよう積極的に連絡を取っていききたい。	医療ケア児はいないが、肢体不自由の子供とは医療センターの方からいただくことがある。受動的にならないよう積極的に連絡を取っていききたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	17	10	概ね達成できている	概ね達成できている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	18	2	対象児童がまだいないが今後の課題とする	対象児童がまだいないが今後の課題とする
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	21	6	機会が少ない事と、限られた職員になっているので改善していききたい。	機会が少ない事と、限られた職員になっているので改善していききたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	17	5	地域の催し物に参加することはあるが、こちらから能動的に関わることは少ない。フリマなど体験させてみたい。	地域行事への参加を今年度は増やしていく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	12	協議会参加の目的を確認する	今年度より実施予定
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	25	3	概ね達成できている	概ね達成できている
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	17	まず、我々のレベルを引き上げて保護者の信頼をより多くいただくことから始めたい	まず、我々のレベルを引き上げて保護者の信頼をより多くいただくことから始めたい
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	17	8	今後は一方的な説明でなくしっかり相手の理解度合いを気にしながら行うことも必要	今後は一方的な説明でなくしっかり相手の理解度合いを気にしながら行うことも必要
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	27	3	まだ若い職員も多く、適切な助言かどうかは判断しかねることもあるので職員間で共通認識を持たせたい	まだ若い職員も多く、適切な助言かどうかは判断しかねることもあるので職員間で共通認識を持たせたい
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	30	0	児童発達支援と違い平日は困難なため、今後屋外で保護者参加型のバーベキューパーティーを考えている	児童発達支援と違い平日は困難なため、今後屋外で保護者参加型のバーベキューパーティーを考えている
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	27	3	今後も気を緩めることなく真摯に対応していく。	今後も気を緩めることなく真摯に対応していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	27	3	今後はIT活用でよりきめ細やかな発信をしていきたい。	今後はIT活用でよりきめ細やかな発信をしていきたい。
	35	個人情報に十分注意している	28	2	引き続きSNS等に活動の様子をアップロードする際は細心の注意を払う。	引き続きSNS等に活動の様子をアップロードする際は細心の注意を払う。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	14	7	今後はIT活用でよりきめ細やかな発信をしていきたい。	今年度より可視化に向け、ITシステムを本格導入し、お子さまのご様子などの発信の充実を深めていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	17	今後機会を設けていきたい。	今後機会を設けていきたい。
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	20	8	利用機会の少ないお子様の保護者に対しては難しいが半年に一度の個別面談の時に実施したい。
39		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	28	2	概ね達成できている。	概ね達成できている。
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	28	2	マンネリ化しないこと、新人やドライバー迄徹底的に浸透させる。	マンネリ化しないこと、新人やドライバー迄徹底的に浸透させる。
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	27	3	やむを得ずの場面になる前に行動していく	やむを得ずの場面になる前に行動していく
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	20	0	今後も継続していく	今後も継続していく
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	22	最近振り返りノートに記載するがノートでの周知徹底や今後につなげる注意事項としては不十分である。早急に改善に取り組む。	ヒヤリハットからの対策は今後も要改善とし、今年度の重点課題として取り組んでいく。